

9

月

第22回



いつまでも暑い日が続いていますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

旧暦では月の満ち欠けに合わせて暦を作っていたため、月の神は暦の神と呼ばれていたそうです。空気が澄み月が最も美しく見えるのは、今も昔もやはり十五夜から十三夜。

九月中旬から十月中旬にかけてです。

昔は春の花見、秋の月見はとても楽しみにされていたようです。

十四夜は翌日の満月を楽しみに待つという意味から「待宵(まつよい)」

十五夜の日は晴れて願いが叶ったことから「望月(もちづき)」

次の日は月の出が遅くなることをためらい「十六夜(いざよい)」

十七夜、夕方立って待つ間に出る月という意味から「立待月(たちまちづき)」

十九夜は月の出が遅いことから寝て待つという「寝待月(ねまちづき)」

このようにして、月にまつある美しい言葉が生み出されているようです。

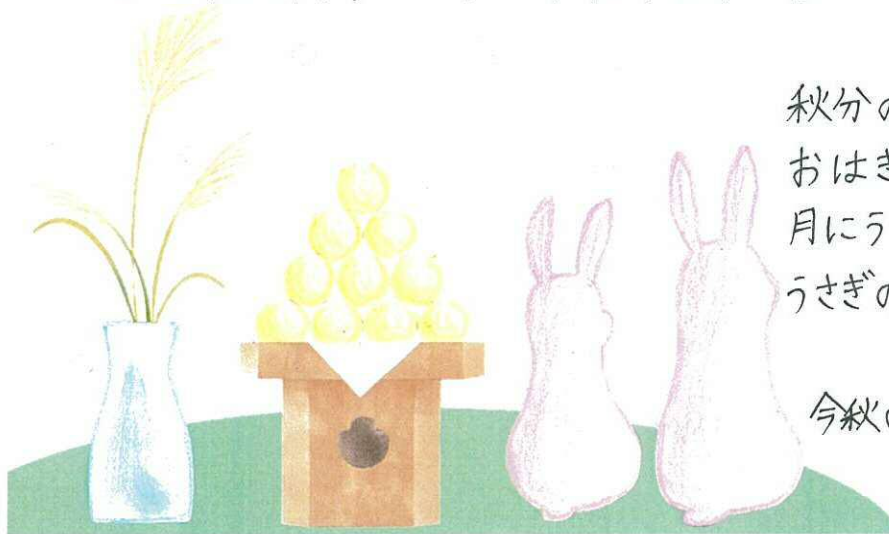
(暮らしの歳時記 参照)

～ 9月のおすすめのお茶～

一種類のお茶を三通りでいただく

「剣棒(けんぼう)」… まったく渋みがない、甘いお茶です。

- ① お湯で入れた、あたたかいお茶
- ② 水で出した 冷茶
- ③ 茶葉を炒ってから入れた、ほうじ茶



秋分の日には先祖を法要し、しのぶ日。

おはぎとお茶で一服、

月にうさぎが住んでいるという言い伝えから

うさぎの可愛らしいお菓子とお茶で一服。

今秋の豊かな実りをお祈り申し上げます。



NORITOMI

ニーズをコーディネートする。ぬくもりをデザインする。

乗富材木店

TEL:0944-74-1000

H P:<http://noritomi.jp>

〒832-0827 柳川市三橋町蒲船津 56-5

担当:堤・新開